

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立堺高等学校 定時制の課程
准校長 山下 浩 二

令和5年度重点目標 ○様々な背景を有する生徒を励まし支えながら、一人ひとりの個性や特質に応じた教育的支援を行う。 ○卒業後のキャリア形成を意識し、生徒一人ひとりに個別最適化された学力保障と進路指導を行う。 ○よりよい生活や人間関係を形成しようとする生徒の自主自律的な態度を育成する。	
「確かな学び」の現状 ○学習歴や生活背景などにおいて、きわめて多様な背景をもつ生徒の学びの場、学びなおしの場となっている。 ○不登校経験のある生徒や学習面に課題のある生徒、また外国につながるのある生徒なども在籍している。 ○学習に自ら進んで取り組んだり、自分で課題意識を持って学習に向かう生徒は多くはない。	「豊かな心・健やかな体」の現状 ○生徒は概して素直であるが、対人関係能力、生活習慣、進路意欲などの実態は多様である。 ○生涯にわたって学び続ける姿勢や対人関係などに自信を持ちにくい生徒も多く存在する。 ○自ら進んで挨拶したり、相手のことを考えた行動ができるような成長が期待される。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)		達成状況 (年度末)			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	生きる力の基となる基礎・基本の学力の定着を図る	●学習内容の焦点化、スモールステップ化、ICT の活用などを活用し学習支援を行う	定期テスト等での習得率向上	定期テスト等自己評価	年度末	◎	学習内容を焦点化することで基礎基本を重視した学力について、順調に身につけさせることができています。	◎	学びなおしや基礎基本に焦点を当てた段階的な学習に取り組むさせることで学習理解度の向上が見られ、就職や進学に対応できる基礎学力を概ね身につけさせることができた。	◎	おおむね良好である
			基礎学力等を向上させるための授業時間設定を実施する	定期テスト等での習得率向上	定期テスト等自己評価	年度末	◎		◎		◎	
		キャリア教育を充実させ、希望する進路先に対応できる学力を身につける	様々な学習ニーズに応じた学校設定科目を実施する	定期テスト等での習得率向上	定期テスト等自己評価	年度末	◎	HRや総合的な学習の時間を活用し、自己キャリア形成に資する学習を継続して行っている。	◎	年間を通じた継続的なキャリア指導により、就職内定率が向上し、進路未決定者数を減らすこともできた。	◎	おおむね良好である
			●卒業後の進路について積極的にかわる力を育成する	生徒の生活実態アンケート「卒業後の進路について」考えていない割合	生徒の生活実態アンケート	年度末	○		○	アンケートにおいて卒業後の進路について考えている生徒の割合は、昨年比では同等ある。	○	
豊かな心・健やかな体	基本的生活習慣の確立	一人ひとりが互いのよさを認め、ともに高めあえる力を育成する	●集団づくりをとおして、互いの違いを認め合い、支えあおうとする生徒を育成する	生徒の生活実態アンケート「学校生活について」肯定的評価	生徒の生活実態アンケート	年度末	○	挨拶は多くの生徒ができるようになっていますが、自ら進んで行うことに課題がある。	○	今年度実施した学校生活についての意識調査において、約9割の生徒が「この学校に入学してよかった」と回答しており、高い満足度が伺えた。	○	おおむね良好である
			自ら挨拶ができるようになったと感じられる生徒を育成する	生徒が来校者・職員に挨拶ができる	自己評価	年度末	○		○	自ら挨拶ができる生徒の育成については、今後も継続的な指導の必要性を感じる。	○	
認知度の向上	信頼される学校	認知度の向上を図るため、堺高校定時制課程の良さを知ってもらう	中学校訪問を教職員が実施し、教育活動の現状と成果を広報する	中学校訪問の実施回数 志願者数の増加	自己評価	年度末	◎	中学校への訪問回数を増やし、またHPの更新頻度を高めることで、開かれた学校づくりができてきている。	◎	全職員が協力して堺市内及び近隣自治体中学校への訪問を行い、中学校の志望校調査において本校への進学希望者数が増加した。	◎	本校への進学希望者数が増えるのは良いことである。 学校HPの掲載記事数が増えて、とても嬉しい。
			●学校ホームページを活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める	実践報告 志願者数の増加	自己評価	年度末	◎		◎	学校HPの掲載記事数を大幅に増加するなど積極的な情報発信を行った。	◎	

校長より (年度末)
今年度は、昨年度一部実施できていなかった学校行事も全て通常通り実施することができ、より充実した学校生活を生徒に提供することができたと感じている。 本校には不登校を経験した生徒や特別な支援が必要な生徒、また日常生活に様々な背景を有する生徒など、一人ひとりに対応した指導内容や指導方法の工夫が必要となるが、今後も組織的に改善を継続し、生徒の特性に応じた個別最適化された教育を実践していく。 また生徒自身が、よりよい生活や人間関係を自主的に形成し、保護者や教員とともに卒業後の進路について考えを深めるキャリア形成活動を継続指導していく。

学校関係者評価者から (年度末)
全体的におおむね良好である。